

「全国学生調査（第４回試行）（文部科学省実施）」の結果、別府大学と別府大学短期大学部が多くの項目で学生からの高評価を受けました

令和７年１０月２７日

文部科学省は、全国学生調査（第４回試行、令和６年度実施）の結果について、学生に高い評価を受けた上位１５％の１４～２８校を分野別に学部別に本年１０月に公表しました。

対象学生：参加校の２年、最終学年（短大は、最終学年）

調査方法：質問項目の選択肢数（４件法）４点～０点で算出

分野（参加校数）：「人文(94)」「社会(185)」「理工・工学、農学(152)」「医学、歯学、薬学、保健（169)」「教育、スポーツ、芸術、家政（136)」「その他(67)」「短期大学(106)」

別府大学、同短期大学部の学生から高評価を受けた項目と順位
（ポジティブリストに入った学部等と質問項目等）

分野：社会（国際経営学部）185 校中

問 NO	項目	順位
4	理解がしやすいように教え方が工夫されていた	13 位
6	課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される	15 位
8	質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある	24 位
9	TA 等の補助的な指導がある	9 位
17	人に分かりやすく話す力が身についた	23 位
19	数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能が身についた	10 位
23	異なる文化に関する知識・理解が身についた	26 位
24	卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している	20 位
25	授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている	5 位
26	教職員が熱心に教育に取り組んでいる	10 位

分野：教育、スポーツ、芸術、家政（食物栄養科学部）136 校

問 NO	項目	順位
6	課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される	15 位
9	TA 等の補助的な指導がある	9 位

分野：その他（文学部）67 校

問 NO	項目	順位
8	質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある	9 位

1 3	専門分野に関する知識・理解がついた	9 位
1 4	将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観が身についた	7 位
2 6	教職員が熱心に教育に取り組んでいる	6 位

分野：短期大学（食物栄養科）106 校中

問 NO	項目	順位
4	理解がしやすいように教え方が工夫されていた	14 位
5	予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される	7 位
6	課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される	5 位
8	質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある	8 位
9	TA 等の補助的な指導がある	9 位
1 6	論理的に文章を書く力が身についた	8 位
1 9	数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能が身についた	12 位
2 0	問題を見つけて解決方法を考える力が身についた	14 位

参考：全体の質問事項

- 問 1～3（学生の学部、分野、学年）
- 問 4（理解がしやすいように教え方が工夫されていた）
- 問 5（予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される）
- 問 6（課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される）
- 問 7（グループワークやディスカッションの機会がある）
- 問 8（質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある）
- 問 9（ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある）
- 問10（インターンシップ（5日間以上）
- 問11（海外留学・海外研修（短期も含む）
- 問 12（主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）
- 問13（専門分野に関する知識・理解）
- 問14（将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観）
- 問15（文献・資料を収集・分析する力）
- 問16（論理的に文章を書く力）
- 問17（人に分かりやすく話す力）
- 問18（外国語を使う力）
- 問19（数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能）
- 問20（問題を見つけて解決方法を考える力）
- 問21（他者と協働する力）
- 問22（幅広い知識、ものの見方）

問 23（異なる文化に関する知識・理解）

問24（卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している）

問25（授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている）

問26（教職員が熱心に教育に取り組んでいる）

問 27（大学の学びによって成長を実感している）